

マーケット週間レポート - 2025年7月19日版

一週間の振り返り：為替・株式・経済ニュース

はじめに

今週のマーケットは、トランプ政権の関税政策への警戒感が高まる中、S&P 500とナスダックが史上最高値を更新する一方で、ダウ工業株30種平均は下落するという二極化した展開となりました。為替市場では円安が進行し、USD/JPYは148円台後半で推移しています。日本市場では日経平均が39,819円と4万円の台を下げている状況が続いています。

このレポートでは、今週のマーケット動向を分析し、来週以降の注目ポイントを整理します。

エグゼクティブサマリー

今週のキーポイント

- 主要な市場動向
 - 米国株式市場は好調な決算発表に支えられて最高値を更新
 - トランプ大統領の関税政策が市場の注目を集める
 - 暗号通貨法案の成立でデジタル資産市場に前向きな動き
 - 為替市場では円安傾向が継続

主要指標サマリー

指標	終値	変動	変動率
日経平均	39,819.11	-82.08	-0.21%
NYダウ	44,342.19	-142.30	-0.32%
S&P 500	6,296.79	-0.64	-0.01%
ナスダック	20,895.66	+10.44	+0.05%
Russell 2000	2,240.01	-	-0.61%

為替市場の動向

主要通貨ペア

通貨ペア	現在値	変動
USD/JPY	148.7490	+0.13%
EUR/USD	1.1618	+0.14%
GBP/USD	1.3422	+0.04%

 為替市場ハイライト

今週の為替市場では、ドル円が148円台後半で推移し、円安傾向が継続しました。この動きの背景には、米国の堅調な経済指標と日米金利差の拡大への懸念があります。

ユーロドルは1.16台で推移し、欧州中央銀行（ECB）の政策動向への注目が高まっています。英ポンドは比較的安定した動きを見せており、英国経済の回復期待が支えとなっています。

JP 日本経済

 主要指標

指標	現在値	変動	備考
日経平均	39,819.11	-0.21%	4万円台を下回る
長期金利	1.525%	-0.030%	金利低下
ドル円	148.79-81	+0.07円安	円安継続

 日本市場ハイライト

日本株式市場は軟調な展開となり、日経平均株価は39,819円で取引を終えました。関西電力が原子力発電所の新設計画を発表するなど、エネルギー関連のニュースが注目されました。

政治面では、参議院選挙を控えて各党の公約に注目が集まっており、特に「外国人優遇」問題や経済政策について活発な議論が展開されています。

US 米国経済

 主要指標

指標	現在値	変動	備考
NYダウ	44,342.19	-0.32%	関税懸念で下落
S&P 500	6,296.79	-0.01%	史上最高値更新
ナスダック	20,895.66	+0.05%	テック株堅調
10年債利回り	4.4320%	-0.69%	金利低下

 米国市場ハイライト

米国株式市場では、第2四半期決算シーズンが本格化し、多くの企業が市場予想を上回る好調な業績を発表しました。特にテクノロジー関連企業の決算に注目が集まっており、AI関連投資の拡大が業績を押し上げています。

トランプ大統領は暗号通貨関連法案（GENIUS Act）に署名し、デジタル資産市場の法的枠組みが整備されました。これにより、暗号通貨市場に前向きな動きが見られています。

CN 中国経済

主要動向

中国経済については、今週は特に大きな材料は見られませんでした。米中貿易関係への懸念が続いています。トランプ政権の関税政策が本格化すれば、中国経済への影響は避けられない状況です。

また、Microsoftが米国防総省向けクラウドサービスのサポートチームから中国系技術者を除外するなど、技術分野での米中デカップリングが進んでいます。

その他の地域

EU 欧州

欧州では、トランプ大統領がEUに対して最大20%の関税を検討していると報じられ、市場に緊張感が広がりました。欧州企業の決算は比較的好調で、特に防衛関連企業のSaabが14%上昇するなど、地政学的リスクを背景とした防衛支出増加の恩恵を受けています。

GB 英国

英国では、スターマー首相がトランプ大統領との関係強化に努めており、2ヶ月で2度の訪英が予定されるなど、「ゴルフと王室のもてなし外交」が展開されています。

来週の注目ポイント

重要イベントカレンダー

日付	イベント	重要度
7月21日（月）	Magnificent Seven決算開始	● 高
7月22日（火）	Tesla決算発表	● 高
7月23日（水）	Google（Alphabet）決算発表	● 高
7月24日（木）	Meta決算発表	● 中
7月25日（金）	Amazon決算発表	● 中

主要注目ポイント

-  **Magnificent Seven決算**
 - AI投資の進捗と収益性
 - 今後の設備投資計画
 - 株価への影響度
-  **関税政策の展開**

- トランプ政権の具体的な関税実施計画
- 8月1日の期限に向けた動き
- 企業業績への影響

3. 💰 FRBの金融政策

- 7月の利下げ可能性
- パウエル議長の発言
- 長期金利動向

🎯 マーケット見通し

📊 短期見通し（1-2週間）

来週は「Magnificent Seven」の決算発表が本格化し、特にTeslaとGoogleの業績に注目が集まります。AI投資の収益性や今後の設備投資計画が株価に大きな影響を与える可能性があります。

📈 中期見通し（1-3ヶ月）

8月1日のトランプ関税実施期限を控え、貿易政策の不確実性が市場のボラティリティを高める要因となりそうです。一方で、企業決算の好調さが株式市場を下支えする構図が続くと予想されます。

⚠️ 主要リスク要因

- 関税政策の影響拡大：企業収益や消費者物価への波及
- 地政学的リスク：米中関係の悪化、欧州情勢
- 金融政策の変更：FRBの政策転換リスク

💡 投資家へのアドバイス

現在の市場環境では、決算内容を精査した個別株選択が重要です。特にAI関連銘柄については、投資効果の実証性を重視した判断が求められます。また、関税政策の影響を受けやすいセクターについては、慎重な投資姿勢を維持することをお勧めします。

⚠️ ディスクレーマー

本レポートは情報提供を目的としており、投資勧誘や投資アドバイスを目的としたものではありません。本レポートに記載されている情報は2025年7月19日時点のものであり、その正確性、完全性、または適時性を保証するものではありません。

本レポートの内容に基づいて行われる判断や行動、またはそれにより生じる結果について、当社は一切の責任を負いません。投資判断は投資家ご自身の責任において行ってください。過去の投資実績は将来の投資成果を保証するものではなく、投資には常にリスクが伴います。